

海外自治体幹部交流協力セミナー2022（シンガポール事務所管内）

事業概要

地方交流事業テーマ： 選ばれ、住み続けられる地域づくりについて ～持続可能なレジリエントシティ～

海外参加者数： 8名

KODIPPILI ARACHCHIGE SAJEEWANI MAHESHIKA (Ms.) コディッピリ・アラッチゲ サジーワニ・マヘシカ ※団長
スリランカ 公共管理・内務・州評議会・地方政府省 追加秘書（州評議会・地方政府担当）
HOANG MAI (Ms.) ホアン マイ ※副団長
ベトナム 国立公共管理アカデミー 大学院部門長
SOK WATHANAK (Mr.) ソク ワタナク
カンボジア 公務員省 副総局長
PANDYA DEVARSHI (Chartered Accountant) パンデヤ デバーシ
インド オールインド自治体協会 最高財務責任者
PRASETYO SUTANTO HARI (Mr.) プラセトヨ スタント ハリ
インドネシア 内務省ジュニア政策アナリスト
BOUTTANAVONG VIENGSAVANH (Mrs.) ブーッタナヴォン ヴィエンサヴァン
ラオス ヴィエンチャン都 ヴィエンチャン都管理局 副主任
MARALLI, JR. ALFONSO (Mr.) マラーリ・ジュニア アルフォンソ
フィリピン 内務・地方政府省 課長補佐
WAN (SUDTANA WANPAKORN) (Dr.) ワン（スドタナ ワンパコーン）
タイ ホウアナークム町役場 公衆衛生・環境課課長

日程：

月日	予定	宿泊地
11/27(日)	来日、オリエンテーション	東京都
11/28(月)	東京セミナー（日本の地方自治講義、都内施設視察） クレア主催歓迎レセプション	東京都
11/29(火)	東京セミナー（都内施設視察） 受入自治体（福島県郡山市）へ移動 地方交流事業（郡山市長表敬、行政説明） 郡山市主催歓迎夕食会	郡山市
11/30(水)	地方交流事業（視察）	郡山市
12/1(木)	地方交流事業（視察、意見交換会） クレア主催帰国前夕食会	郡山市

12/2(金)	地方交流事業（視察） 東京都へ移動 自由行動	東京都
12/3(土)	帰国	—

【11月27日（日）】

参加者来日

【11月28日（月）】

（1）講義：日本の地方自治

はじめに、東京では日本の地方自治制度への共通理解を得るため、明治大学の木村俊介教授による「日本の地方行財政制度」の講義を受講。参加者からは「日本の自治体同士が合併により更なる発展を遂げていることが理解できた」、「自治体が都道府県、さらに市区町村に分類され、効率的で規則正しいと感じた」などの感想があり、自国の制度と比較しながら、日本の地方自治に関し、理解を深めた。



（2）視察：首都外郭放水路

埼玉県春日部市に位置し、首都圏の水害を軽減することを目的とした治水施設「首都外郭放水路」を視察した。同施設は台風や大雨の影響により、周辺河川の増水及び洪水を防ぐため流量容量を超えた水を貯留し、別の河川に排水する役割を果たしている。

国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所担当者から、施設の概要説明を受けた後、実際の調圧水槽を視察した。自然災害はどの国においても起こり得るが、とりわけ参加者の国々では台風や洪水、大雨が多く発生するため、関心を持ち積極的に質問をする場面が多く見られた。



（3）クレア主催歓迎レセプション

参加者8名のほか、クレアから常務理事、クレアシンガポール事務所赴任予定者等が参加し、互いの制度や文化などについて紹介し、交流を深めた。



【11月29日（火）】

（1）視察：東京臨海広域防災公園

日本の防災方針及び対策について学ぶため、東京臨海広域防災センターを訪れた。同センター担当者から、医療提供、避難誘導及び基本情報の発信について説明を受けた。

自然災害時の対応は参加者の各国においても課題になっており、参加者からは「災害時における対策本部の選定方法」、「在留外国人向けの情報発信プラットフォームの有無」などの質問があり、非常に興味深く視察に参加している様子が伺えた。



～郡山市へ移動～

（2）郡山市長表敬

郡山市役所において、品川萬里郡山市長への表敬訪問を行い、市長をはじめ職員の方々から、温かい歓迎を受けた。訪問団の団長であるコディッピリ・マヘシカ氏（スリランカから参加）からは受け入れへの謝意を示したほか、職員の素晴らしいおもてなしに深く感銘を受けたとの感想があった。



（3）郡山市概要説明

郡山市職員より、郡山市の概要及び連携中枢都市圏、市街地再開発や多文化共生の施策について説明を受けた。参加者は、特にまちづくり施策について熱心に耳を傾けていたほか、郡山市が取り組んでいる外国人住民のための情報発信や人口減少対策についての質問を行った。

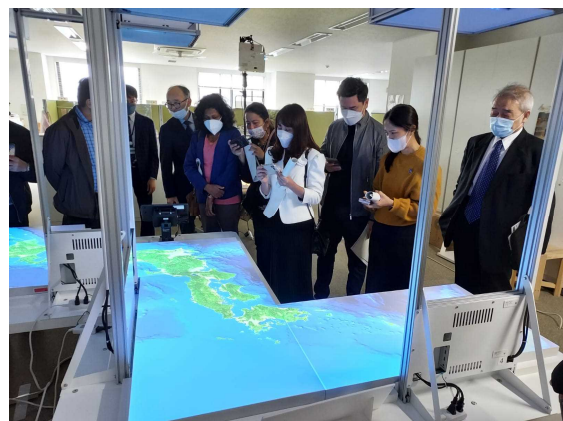
【11月30日（水）】

（1）視察：国立環境研究所・福島県環境創造センター（福島県田村郡三春町）

初めに、国立環境研究所を訪問し、同所担当者から3Dマップ等を用いた県内の再生可能エネルギーの発電状況や気候変動がもたらす影響、環境動態研究等の説明を受けた。

また、グループに分かれ塩や湯の花などの様々な物質にどれほどの放射線が含まれているか、実験を通して確認した。

日常生活においても放射線の数値はゼロではないことを再認識し、参加者は真剣に被ばくの影響について考えている様子が伺えた。



(2) 視察：矢田工業株式会社（郡山市）

続けて、矢田工業株式会社を訪問した。同社担当者から、橋の建築施設の概要、設備、建築過程に関し、説明を受けた。高い技術力を海外で生かすため、国際協力機構（JICA）の「中小企業・SDGsビジネス支援事業」を活用し、ベトナムへ技術者を派遣している。また、ベトナム出身の同社員から、外国人として日本企業に勤めている感想を聞くなど、参加者にとって有意義な機会となった。



(3) 視察：薄井農園（福島県須賀川市）

約300年の歴史を持つ薄井農園を訪問した。同園では無農薬・減農薬にこだわり、環境に配慮した上で、安全・安心なリンゴや米を栽培している。

参加者は農園の概要説明を受けた後、収穫体験や試食を楽しんだ。収穫体験では、熟しているリンゴの探し方や取り方について質問したほか、新鮮で蜜たっぷりのリンゴに舌鼓を打った。



(4) 視察：郡山市富久山クリーンセンター（郡山市）

この日の行程の最後の視察先として、郡山市富久山クリーンセンターを訪問した。同センターの焼却処理場ではごみを焼却するだけでなく、焼却時に生じるエネルギーを利用した発電も行い、不燃ごみからは、鉄とアルミニウムを機械で自動回収し、資源物として再利用している。

施設概要の説明を受けたあと、施設内を視察し、ごみの分別・焼却過程の説明を受けた。参加者によっては、ごみの処理・分別が自国で課題となっていることから、本施設の訪問は非常に関心が高く、活発な質疑応答が行われた。



【12月1日（木）】

（1）視察：磐梯熱海アイスアリーナ（郡山市）

磐梯熱海アイスアリーナは、県内唯一の室内アイススケートリンクであり、競技会開催のほか、カーリング教室やアイスホッケーなど冬の人気スポーツを楽しめる施設である。また、夏季にはテニスやバドミントンなど多目的に利用することが可能である。

視察の途中、地元小学校が体育授業で同アリーナを利用しており、参加者は氷の上を楽しむ小学生の様子を温かく見守っていた。



（2）視察：ドリームラボ上伊豆島（郡山市）

磐梯熱海アイスアリーナを訪問後、エフコムドリーム・ラボ上伊豆島を訪問した。少子化の影響を受け、学び舎としての役割を終えた「旧郡山市上伊豆島小学校」を郡山市の企業「株式会社エフコム」が廃校活用し整備した施設である。

2階には会社の事務所があるが、1階には多目的スペース、コワーキングスペースなどが設置され、スタートアップ企業や地域住民を受け入れている。こうした取り組みに参加者が感銘を受けるとともに、市民参加型の事業についても知見を深めた。



（3）海苔巻き作り体験（郡山市）

郡山市逢瀬ふれあいセンターで、昼食を兼ねた、海苔巻き作り体験や同市逢瀬町の食材を使った田舎料理を堪能した。指導に当たった「逢瀬いなか体験友流協議会」は、逢瀬町の農家が中心となり、農家民宿や農業体験などのグリーンツーリズムに取り組んでいる。

参加者は日本食の文化に触れ、地域住民と楽しく交流している様子が伺えた。



（２）視察：産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所（郡山市）

郡山市セミナーの最後の視察として、産総研 福島再生可能エネルギー研究所を訪問した。研究拠点到広大な実証フィールドを有しているのが特徴で、水素、風力、太陽光、地中熱など再生可能エネルギーの研究を行っている。参加者は特に地中熱の研究・取り組みについて関心を持ち、再生可能エネルギーの技術進歩や現在の課題、限界など活発な意見交換が行われた。



（３）意見交換会

郡山市セミナーの締めくくりとして、参加者と郡山市職員が一堂に会し、これまでの視察を踏まえた意見交換会を開催した。

はじめに、日本貿易振興機構福島貿易情報センター（JETRO 福島）の吉田悠吾所長から同所の取り組みについて、プレゼンテーションがあった。続けて、参加者へ事前に質問されていた「各国における基礎自治体間の連携の仕組みの有無」や「仕組みがある場合の財源措置」についての説明があった。また、参加者・郡山市職員双方から「自治体としての発信はもちろん、周辺地域の魅力発信も不可欠だ」との意見が挙げられた。

最後に、参加者から「医療廃棄物はどのように処理しているか」や、「自治体合併のメリット」について質問があった。短時間ではあったが、郡山市の情勢及び日本の自治体のあり方について十分な知識を得ることができた。



【12月2日（金）】

（１）視察：デコ屋敷（絵付け体験）（郡山市）

郡山市滞在の最終日は、高柴デコ屋敷を訪問し、約300年前から続く伝統の張子人形の歴史や作り方の説明を受けた後、絵付け体験を行った。参加者は筆を上手に扱って、様々な模様を装飾し、色とりどりの豆だるまを完成。「和を感じさせてくれる立派な古民家でこのような文化体験ができて嬉しい」「もう一つ作って我が子にプレゼントしたい」といった喜びの声を聞くことができた。



【12月3日（土）】

参加者帰国

以上